

2019年3月27日

## 横浜ゴム・YOKOHAMA まごころ基金の支援金が フィリピンで教育機関の衛生改善施設の建設に活用

横浜ゴム（株）と従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金」がNPO法人「イカオ・アコ」に寄付した活動支援金が、フィリピンでのリサイクルゴミ分別貯蔵倉庫（MRF＝Material Recovery Facility）の建設に活用されました。「YOKOHAMA まごころ基金」と横浜ゴムは2018年1月にそれぞれ15万円ずつを寄付し、合計30万円の支援をしました。

今回の支援金はフィリピンのボホール島ウバイ郡のゴミ管理状況を改善するために役立てられました。ゴミ分別貯蔵倉庫が建設されたのはファティマ村にあるウバイ・ナショナル・サイエンス高校（Ubay National Science High School）で、2019年2月22日に寄贈式が行われました。

「YOKOHAMA まごころ基金」は、寄付を希望する従業員が会員となり給与から毎月1口100円を天引きして積み立て、集まった資金を環境保全や人権擁護などに取り組むNPO、NGOなどへの資金援助や重大な災害への義援金として拠出することを目的に2016年5月に設立されました。横浜ゴムはマッチングギフト<sup>※1</sup>として同基金支援額と同額を寄付する仕組みとなっています。

「イカオ・アコ」（代表：後藤順久氏）は、日本とフィリピンの友好関係を深めることを目的に、フィリピンでの森林破壊の実態調査、地域住民とともに行う植林による森林再生、3R<sup>※2</sup>啓発や収入向上支援などの活動を展開しています。横浜ゴムは「YOKOHAMA まごころ基金」の寄付以前にも衣類などの物資支援を行っていました。

※1：従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を拠出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み

※2：Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再生利用）の3つのRの総称



建設中のMRF



MRF 寄贈式での記念撮影

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）広報部 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570